

1.1.1 実装するサンプルモデルの概要

(1) チュートリアル用未来計算型モデルの説明

未来計算型モデルは、現在の入力状態から、未来（ δt 秒後）の状態を算出します。以下に、概要図を示します。モデルに接続する伝送データとして、ポイント時系列伝送情報を使用し、セル内の物理情報としては、流量（入出力情報）と流量（内部状態）を持ちます。未来計算型サンプルモデルの演算としては、流量の入力情報に対して、流量の出力情報は変化します。

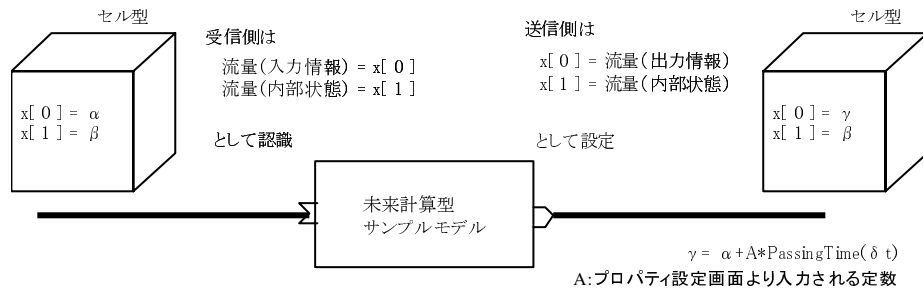


図 1 チュートリアル用未来計算型サンプルモデルの概要

(2) チュートリアル用現状計算型モデルの説明

現状計算型モデルは、現在の入力状態をそのまま出力し、自モデル内部状態は、入力値により変化します。以下に、概要図を示します。モデルに接続する伝送データ、セル内の物理情報は未来計算型モデルと同様とします。未来計算型サンプルモデルの演算としては、流量の入力情報に対して、流量の出力情報は変化しません。流量（内部状態）の出力は変化します。

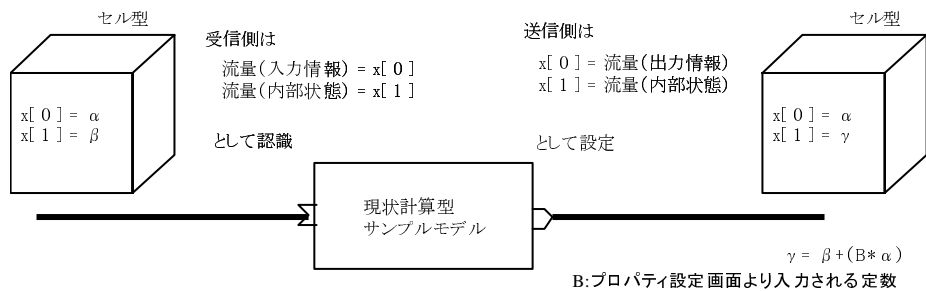


図 2 チュートリアル用現状計算型サンプルモデルの概要